

飯舘村にようこそ!

移住・定住・交流事業の現在

平成29年4月以降の飯舘村への移住者は、9月1日現在で40世帯・71人にのぼります。移住のきっかけはさまざま、復興事業や支援のための居住も、飯舘村で暮らしていこうと人生の舵を切った移住もあります。

人生の場面転換ともいえる移住は、大きなチャレンジ。どんなに準備を重ねてきても、暮らしをつかっていく過程は簡単ではないはず。飯舘村を選んで、または縁あって移住して下さった方々を、村全体であたたかく迎えて応援していきましょう。

移住・定住・交流事業には 何より村民の皆さんの力が必要です

村は、今年度の最重点事業に「移住・定住・交流事業」を掲げ、交流人口・定住人口の増加に力を入れています。6月には「移住定住交流推進対策室」を新設し、本格的な取り組みをスタートさせました。この対策室の愛称は「eライフセンター」で、事務所は役場西側の「ビレッジハウス美園社」内にあります。

eライフセンターは、移住を検討している人が短期滞在できる「お試し移住」のサポートや、移住先の住宅の紹介なども行います。「空き家バンク」も始まりましたので、村内に空き家を持ち、移住者への有償譲渡や賃貸を希望する方は、対策室までご連絡ください。

9月末には、移住定住のしおり「までいな暮らしへの誘い」が完成しました。しおりは、村に思いを寄せてくださる方や、移住に意欲のある方へ、村の現状や、村の暮らしの魅力、移住に関する補助事業などをお伝えする内容です。

そして、移住する人が暮らしをつくっていく中で、近所や地区の協力は欠かせません。また、村外の方との交流事業も、村側の主役は村民の皆さんです。豊かなネットワークを築きながら、よりよい村づくりが進められるよう、村民の皆さんのご理解とお力添えをお願いします。



移住定住のしおり「までいな暮らしへの誘い」。10月中旬から配布がスタートします。
【eライフセンター ☎0244 (42) 0310】

いいたて四季彩景 ● 稲穂の波



稲刈りの予定を耳にするようになった9月下旬。そよ風にスイングする黄金の稲穂（八和木地区）



CONTENTS 目次

- 3 特集1 飯舘村にようこそ! 移住事業の現在
- 6 復興を歩む ラオスとの交流
- 8 報告のページ 9月議会定例会
- 10 特集2 平成29年度決算報告
- 14 ほけんとふくし 飯舘村敬老会 ほか
- 16 いいたて便り
- 18 つながるアルバム
- 19 ちょっと昔のいいたてライフ ほか
- 20 お知らせ
- 21 入札結果 ほか
- 22 ひとかたるものがたり / 堀先生相談室
- 23 こころのほけっと / ひとのうごき
- 24 ホープス / 編集後記

特集でお話を聞いた移住者の一人、伊集院博さんは、ソリダコの花の栽培に取り組んでいます。根付くまではたっぷりの水やりを欠かせないため、夏場は1日に何度も水を散布しました。初めての畑で花を咲かせて来年にもつなげられるよう、もくもくと作業する伊集院さんでした。



●表紙のおはなし●